

後援会会員インタビュー

温良高徳さん②

―― 日本共産党 100 周年に当たって思うところは？

温良 私は禅僧です。禅は作為を嫌います。昔達磨禅師が皇帝に招かれ、皇帝が『私はたくさん寺院を作り坊さんを増やし信者も増やした。どんな功徳があるか?』と達磨禅師に尋ねた所、禅師は「無功徳」と答えました。皇帝が「それでは仏教のいみとは」と問うと、「カラリと晴れた青空」と答えられました。作為や捕らわれがあると空は空にはなりません。禅堂の生活は自給自足です。私が思うに、もし共産主義を言うのであれば、地域ごとに共同生活、コミュニケーション的なものを作り、そこを拠点に地域の影響力を及ぼすだけの覚悟が必要だと言うことです。理論だけでは人は動きません。解釈ではなく解決が必要です。

―― 日本の政治について何かあれば?

温良 ハッキリ言って、私は今の政治に興味はありません。本気で国民の事を考へてゐるとは到底思えません。作られた組織の中で因習に従つた制度を守り利益を分配してゐる事は、誰でも判るはずです。何度も何度も私的されていながら、まったく変わらない政治に若者が興味を持つでしょうか？ それでも政治を変えたいならば愚直で在ることです。バカでいいんです。ただ子供の未来を思い、このままではいけないと思う事です。何をやるかは向こうからやってきます。ただ見逃さないように！

—— 最後に伝えたいことがあれば?

温良 人は永い道をゆく旅人です。今住んでいる所も仮の宿に過ぎません。いずれ何も無い所へ行くのです。持っていけるのは自分の歩いてきた人生だけです。後に続く者達を信じれ、前のめりに倒れましょう。・

—— どうもありがとうございました。

みせ麻里市議会議員の「ひとこと」⑪



後援会のみなさまにご協力いただき、いた一浦安市に保健所の設置を「署名を10月に千葉県に届け担当者に要請を行ない、日本共産党の千葉県員会の国政交渉の際には国の担当者に保健所の必要性を訴えました。

介護保険制度について、現在、政府は介護利用料の2割負担拡大や要介護1・2の保険外し、ケアプラン策定などの有料化、40才未満からの保険料徴収など過去最悪の内容を検討しています。

これ以上の負担や保険外しを許すことはできません。力を合わせてストップさせようではありませんか。

来年4月は浦安市議会選挙です。みせます。里5期目に挑戦で引き続きよろしくお願い致します。

「今の日本、これでいいのか」

日本国民は、政府の行為によって再び戦争の惨禍が起こることのないようにすることを決意し、ここに主権が国民に存することを宣言し、この憲法を確定する。そしてそもそも国政は、国民の厳肅な信託によるものであってその権威は国民に由来し、その権力は国民の代表者がこれを行使し、その福利は国民がこれを享受する。これは人類普遍の原理である。

この文章は、現行憲法の前文の一部ですが、憲法違反の議員政治家によって改悪されようとしています。憲法違反の議員は許さないように力を合わせようではありませんか。 浦野 安雄

国葬に添えて

安倍政治

いつか来た道 神の国

雪感に

心奪われ 金貢ぐ

罪深言

サタンの国の国葬か

三

お寄せください

会報に載せる原稿を募集中です。俳句・短歌・川柳・詩・写真・スケッチ・絵手紙・隨筆・意見・要望・その他、お気軽に寄せください。

北部後援会会員募集中です！

いつでもお声掛けください。

0 4 7-3 5 4-9 2 6 9 (みせ麻里)